

## 会議録

会議の名称	令和6年度 第1回和泉市教育委員会評価委員会
開催日時	令和6年5月9日（木）午前10時00分～午前11時25分
開催場所	和泉市役所庁議室
出席者	和泉市教育委員会評価委員会 委員長 平良 伸哉 委員 杉田 菜穂 委員 川口 厚 教育委員会事務局 参与 並木 敏昭 教育次長兼生涯学習部長 辻 公伸 教育・こども部 部長 東 直樹 学校教育担当次長兼教育総務課長 錛治 公哉 教育総務課長補佐 大西 薫 教育総務課企画係長 吉田 昌史 教育総務課総務係主事 西川 世理奈 学校園管理室教育施設担当課長 大内 浩平 保健給食担当課長 濱田 直美 学校教育室長 阪下 誠 教育指導担当課長 仲谷 正太郎 教育指導担当総括参事 山村 直美 教職員担当課長 岩井 靖久 人権教育担当課長 永井 敬 教育センター所長 隅埜 哲弥 こども未来室長 西角 雅士 幼保運営担当課長 北野 剛司 幼保育成担当課長 樋上 征史 幼保育成担当参事 田中 充己 幼保育成担当参事 高木 ますみ
会議次第	1. 開会 2. 教育次長あいさつ 3. 評価委員紹介 4. 職員紹介 5. 委員長選出 6. スケジュール確認 7. 教育・こども部ヒアリング (1) こども未来室 (2) 学校園管理室 (3) 学校教育室

ヒアリング内容	
<b>全体</b>	
杉田委員	取組の成果において、達成度が A 以外となっている項目について、背景や原因を洗い出し、取組の再検討について記述、説明が必要と思われる。
川口委員	同じく取組の成果においては、前年度との比較も重要なので、可能であれば記載について検討いただきたい。
鍛治次長	客観的に、誰が見ても分かる形が一番望ましいので、事務局内で調整のうえ第 3 回で報告させていただきたい。
<b>取組項目番号 1</b>	
平良委員長	公立園の正職員（保育士）の募集について、令和 6 年度採用試験を 5 か月前倒し、4 月に募集開始したということだが、効果は現れているか。
樋上課長	例年と比べかなり多い 58 人の応募があり、1 次試験合格者が 32 人だった。
<b>取組項目番号 2</b>	
川口委員	昨今、物価高に伴う資材の高騰や人件費の上昇など、様々なコストアップ要因が出ているが、課題と改善策において、コストアップに関する対応はあるか。
北野課長	教育センター跡地での公立認定こども園開設については、これから取り組む基本設計、実施設計において、費用面の検討を行っていく。
<b>取組項目番号 3</b>	
平良委員長	令和 5 年 4 月時点で、市中部地域の待機児童は 0 だが、保留児童が約 200 人という実態をどのように考えているのか。
北野課長	保留児童は希望した園に入れなかった児童の総数だが、育児休業手当を受けるために、あえて入所できない園を申し込む場合もあるので、保留児童の解消についての分析は非常に難しいが、精査しながら、今後の対策、検討をしていきたい。
杉田委員	育休の延長を希望した上で保育園申込は、今後もあると思うので、

	保留児童について、行政としてどこまで対応すべきかについては、判断が難しいと思う。全国的な課題で、少し扱いが難しい問題だと思っている。
<b>取組項目番号 4</b>	
杉田委員	取組の達成目標が「全国学力・学習状況調査における対府比の向上」であるが、学校単位での推移について分析、次年度の取組みを考えることが重要かと思う。学校単位で改善をめざす働きかけをしていただきたい。
川口委員	この取組の成果については、指導方法や子どもたちの学ぶ環境だけではなく、教員の欠員状況などといった問題も総合的に捉える必要がある。
平良委員長	取組の達成度、数値については、過去の推移、傾向を見ることも大事である。また、研究校におけるリーディングスキルテストの結果分析に基づいた授業改善とあるが、研究校の授業を他校の先生が参観する機会はあるか。
隅埜所長	リーディングスキルテストとは別に、市内小中学校で研究授業を行つており、他校の教員が参加できる体制を整えている。
平良委員長	他教科の先生が一緒に指導案を作るという取組みをしている中学校があり、面白い取組みだと思った。中学校は教科の壁があり、他の教科の先生に意見するのは難しい所があるが、そういう形をとると、学校教育目標や教科目標に向かって、お互いがより良い意見を出し合えるということもできると思うので、検討いただきたい。
<b>取組項目番号 7</b>	
平良委員長	スクールロイヤー配置の効果は。
仲谷課長	スクールロイヤーについては、年間 72 時間配置しており、この 4 月に、いじめの対応について教育委員会が弁護士に意見をいただいた実績がある。タイムリーに意見をいただいたことが、とても助かった。学校においても法的な意見を求める場面が出てくると思うので、周知を図り、活用を進めたい。
平良委員長	スクールロイヤーを活用することで、教員の負担が少なくなるように

	していただきたい。
平良委員長	校内教育支援センターは不登校児童生徒に対してうまく機能しているのか、状況を教えていただきたい。
隅埜所長	校内教育支援センターについては、今年度から必ず別室を確保して実施するよう、各学校に周知している。昨年度は1中学校を校内教育支援センターモデル校として充実させ、年度末に見学会を行った。引き続き、各学校においても充実を図っていく予定である。
<b>取組項目番号 8</b>	
平良委員長	<p>取組の成果における目標数値（「道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の肯定的回答割合）が小学校と中学校で異なっていることについて説明いただきたい。</p> <p>また、大阪教育大学の准教授を講師招聘した研修の内容はどのようなものか。</p>
永井課長	<p>目標設定については、小、中の現状値を踏まえた数値としている。</p> <p>大阪教育大学の准教授を講師招聘した研修については、「考え方、議論する道徳」をより一層進めることを目的として、「考え方、議論する道徳」とはどういうことなのか、なぜ必要なのか、今までの資料を読んで心情理解に努めるだけの学習とどういう違いがあるのか、ということに関して改めて説明いただいた。</p>
平良委員長	説明だけでなく、実際に授業を見て勉強する機会が増えたらいいと思う。
<b>取組項目番号 9</b>	
川口委員	日本語指導が必要な児童生徒への対応について、語学指導員は日本語教師の資格を持っているのか、資格はないが、自主的に研修を重ねて日本語指導に取り組んでいるのか、国家資格化されている状況があるので、内実が分かれば教えていただきたい。
永井課長	市全体で5人の加配教員が、日本語指導が必要な子どもが在籍する学校（20数校）を巡回指導している。それに加え、各学校に日本語指導担当者を配置し、語学指導員と連携して、指導を行っている状況である。

	語学指導員の中には日本語指導の資格を持っている方もいるが、特に資格を必要とはしていない。
取組項目番号 10 平良委員長	<p>教職員の働き方への配慮について、教員が本来すべき業務とそうでない業務の明示という取組においては、できるだけ職員が教育に専念できるような形をとっていただきたい。</p> <p>また、退職教員が組織する団体も活用いただき、学校現場の負担を減らしていただけたらと思う。</p>
取組項目番号 11 杉田委員	<p>取組みの成果の目標値について、今年度の取組において、民間屋内プールを活用した水泳モデル事業の実施や、課題と改善策において好事例を市全体で積極的に共有という記述があることから、重点化、モデル事業の実施によりどのような傾向が出ているかを確認し、数値の改善につながっていれば政策効果があることの根拠になり、モデル事業の結果が良かった場合、より具体的な情報共有にもなる。</p> <p>取組みを評価、検討するうえで、全国、府、校区ごとの比較や特徴出し、それに基づく議論が有益である。</p>
取組項目番号 12 川口委員	<p>取組の成果の、給食がおいしいと感じている生徒の割合について、中学校の教員をした経験から、子どもが成長するにつれ、好き嫌いがはつきりしてくることが数値に影響しているのではないかと思う。取組に問題があれば厳粛に受け止めなければならないが、目標値が高すぎる可能性も考えられる。</p>
杉田委員	<p>自身の子どもの時の実感なども含めて、9割の児童生徒がおいしいと感じているのは、驚くべき結果である。中学生では目標達成していない結果だが、数値を見ると、取組みがきちんと行われていることが確認できるため、目標値の見直しも検討の一つと考える。</p> <p>また、アンケートの内容については、おいしい、おいしくない、普通といった選択式なのか、あるいは、教育全般について、子どもたちが考えていることを把握したうえで、学校給食のあり方、食育について検討しているのか。後者の方法が、本来の子ども目線での教育というものではないかと考えている。</p>

濱田課長	<p>食育計画等の指標とあわせて、年1回アンケートをとっており、回答は選択式である。</p> <p>その他、残量調査や、栄養教諭が毎月、各校の状況を報告しながら献立検討を行うなど、様々な手法で子どもたちにおいしい給食を提供できるよう対策をとっている。</p>
平良委員長	<p>達成度については、点検・評価全般に関わる問題なので、他の項目についても検討いただきたい。</p> <p>また、調理委託業者倒産などにより、給食が提供できなくなるといった事態が起きないよう、留意いただきたい。</p>
<b>取組項目番号14</b>	
平良委員長	<p>学校図書館図書標準の未達成4校については、各校へ状況を知らせて着実に達成していただきたい。</p>
<b>取組項目番号15</b>	
平良委員長	<p>令和4年度の課題における南松尾はつが野学園増築工事について、詳細を教えてほしい。</p>
大内課長	<p>住宅開発による子育て世帯の流入が当初の見込みより非常に多く、増設が必要になったため、令和3年度から設計を始め、進めてきた状況である。</p>
	以上